

# H17林道の取り組などについて



里山林整備前



里山林整備後

# 里山林整備事業の成果について

質問(黒澤昭治議員) 里山林整備事業の成果について伺います。

答弁(市長) 平成二十一年度実施の里山林整備事業は、将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業、野生獣害軽減のための里山林整備事業、通学路の安全・安心確保のための里山林整備事業の三事業であります。

将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業では平成二十年

度の北滝地区を加え合計約二十九ヘクタールを整備いたしました。事業内容といたしましては山林の不用木除伐とやぶ刈り、雑木の植林及び御亭山緑地公園遊歩道の整備となっております。

野生獣害軽減のための里山林整備事業では、平成二十年

度から実施している福原、堀之内地区と新たに御亭山緑地公園周

やぶ刈り等で田畑に面した緩衝帯づくり等であります。栃木県が実施している野生鳥獣における農作物の被害状況調査では、本市の平成二十一年度の被害状況は前年度を下回る成果が出ており、事業効果があらわれた結果であると思われま

す。通学路の安心・安全を確保するための里山林整備事業では、平成二十一年度初めて中野内地区の通学路周辺の山林三ヘクタールを対象に間伐、やぶ刈りを行い、日の差す明るい通学路づくりを行いました。

情報を習得したり、数々の環境問題に対して自分から取り組める解決策を探索したりする学習などが全校体制で進められております。

また、学んだことを実践に移そうという理念のもと、学校クリーンプログジェクトとして県民の日に花いっぱい運動や親子リサイクル活動、与一の里自然探検活動、河川調査や地域の清掃活動、資源ごみの回収などが積極的に実施されております。これらの環境学習の推進を通して、子供たちに地域の環境を大切にしようとする心や奉仕の精神をはぐくんでお

質問(益子岩夫議員) エコ学習の取り組みについて伺います。答弁(教育次長) 市内の全小中学校において、環境教育全体計画や環境教育目標を策定しており、全教育活動を通してエコ学習やエコ活動などの環境教育に取り組みしております。一つの例としましては、地球温暖化に向けた省エネルギーの取り組みを実践するとともに、植物の栽培を通して緑の大切さへの理解を深めるため、ゴーヤなど緑のカーテンを設置し

ている学校がございます。また、小学校においては、森林の大切さやエコライフの必要性等に関する理解を深めるため、森林や河川などの自然環境学習や五、六年生を対象として栃木県産の間伐材を利用した「マイはしづくり」等も行っております。さらに、地球温暖化防止策の環境保全の理解を深めるために、環境保全に取り組み地域住民の方などをエコリーダーとして環境保全の講師に迎えるなど、環境に関する専門的な



緑のカーテンを設置している蜂巢小学校